

前回までの結論 課題

前回までの結論と課題

今回の対応

1. 微気候環境の変化

- 微気象モデルの再現性が高いことを確認
- 防風植栽により影響を緩和
- 境内の湿度について影響は限定的

前回委員会で審議済

2. 地下水影響

- 境内の地下水は宙水の可能性が高く、
工事の影響は少ない
- 十分な雨水排水対策が必要

輪中堤内の雨水排水計画の検討

3. 環境調和

- 工事の影響を受ける
重要な樹林については移植を行う
- CDM工法の植物に与える影響
について追加調査を行う

- ・文献の整理
- ・小松天満宮周辺で現地試験を実施し、
その影響を評価

4. その他(施設・景観)

- 景観については
施設管理者や市民、利用者の意見を聴く
- 雨水排水計画は小松市の計画と整合を図る
- 輪中堤への動線は
防災面より橋は2箇所が妥当

- ・景観アンケート調査を実施し、
景観の方向性を提案
- ・雨水排水計画規模と施設整備内容検討

5. モニタリング

- 工事前、中、後で地下水、植物影響、
施設影響についてモニタリングを行う

モニタリングの再掲